

# 大学の世界展開力強化事業 取組実績 東京工業大学

## 【構想の名称】(タイプA－ I CAMPUS Asia Pilot Program)

日中韓先進科学技術大学教育環

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

本構想において育成される人材像は、世界の大学、国際的な企業、そして国際機関等で活躍する、卓越した科学技術の素養を持つグローバル人材である。この目的の実現のため、学生に対する動機づけに始まる、一貫したキャリア形成に向けた指導を行う。

### 【構想の概要】

本構想は、清華大学、韓国科学技術院(KAIST)と協力し実施する、研究重視型教育プログラムである。「(1)学部及び大学院修士課程の学生を対象とした科目履修および研究室での実験等のプログラム」、および「(2)大学院課程の学生を対象とした研究に重点を置いた教育プログラム」を通して、質の高い履修成果の認定および研究成果の評価の枠組みを構築する。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

### ○ 質の保証に関する考え方

本構想は、各大学の質の高い教育研究システムを相互に尊重しつつ、参加する学生が効果的に履修の成果を挙げることのできる制度を構築することを基本的な考え方としている。このため、合同委員会を設置し、質の保証への取り組みを行う。

### ○ 単位の認定、成績管理、学生への配慮

プログラムへの個々の参加学生については、双方の大学の間で「修学・研究計画書(Study and Research Plan)」を取り交わし、派遣前、派遣期間中、そして帰国後にわたる期間、指導教員の助言のもと履修を行う制度を構築し、円滑に単位の認定を行う体制を整える。また、共通性が保たれた成績証明書等を発行することにより成績管理を行う。相手大学からの学生に対し本学は、来日前からOCWなどをとおした情報提供を行い、来日後は指導教員に加え、チューターを指名し、修学面における十分な配慮を行う。



### ○ より高度な交流の枠組みへの展開

本構想は、いわゆるデュアルディグリープログラムを含む、より進んだ形態のプログラムに発展させることを予定している。

## ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

ASPIRE League students' workshop



### ○ 本学が主催するサマープログラムへの参加学生の決定

サマースクールおよび研究室における実験等により構成されるサマープログラムに参加する学生について、清華大学およびKAISTから推薦を受け、受入れを決定した。

### ○ 相手大学への本学学生の派遣

清華大学およびKAISTへ派遣する学生を、学内公募をとおして選考、決定した。

### ○ 三大学間における交流の枠組みと質の保証の構築に向けた取り組み

三大学の構想責任者および関係教職員が頻繁に相手大学を訪問し、実施にかかる手順や書式の制定等、交流の枠組みと質の保証の構築に向けた取り組みを実施している。

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

平成24年度以降、毎年、清華大学およびKAISTにそれぞれ5人(計10人)の学生を派遣する。

### ○ 外国人留学生の受入れ

平成24年度以降、毎年、清華大学およびKAISTからそれぞれ5人(計10人)の学生を受入れる。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本への受入	0	C5, K5	C5, K5	C5, K5	C5, K5
中国への受入	0	J5, K5	J5, K5	J5, K5	J5, K5
韓国への受入	0	C5, J5	C5, J5	C5, J5	C5, J5

注)H23は実績、H24以降は計画。

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### ○ 日本人学生の派遣促進のための環境整備

「英語塾(仮称)」を開設し、留学を志望する学生の語学力の向上をはかる。また、新たに留学アドバイザーによる留学先での修学などについての助言を行う。留学中は、メール等により修学・生活上の相談を行うとともに、キャリアアドバイザーによる帰国後のキャリアに関する助言を行う。

### ○ 留学生の受入れ促進のためのサポート体制

プログラムの内容をホームページ上で公表することに加え、相手大学と緊密な連絡を取り円滑な受入れに努める。滞日中は、専門の近い本学学生をチューターに指名し、また、24時間体制のカウンセリングや留学アドバイザーによる助言を行う。

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### ○ ホームページを通じた情報の提供および卓越した人材の輩出

プログラム実施については、独自のホームページを開設するとともに、既存の本学英文ホームページや相手大学のホームページと関連させ、参加学生に留まらない、幅広い層を対象に情報の提供を行う。また、「修学・研究計画書」の利用や共通性の高い成績管理などは、他大学も参考にできる形で開示する。プログラムの成果は、最終的には卓越した科学技術の素養を持つグローバル人材として結実するが、将来的には、輩出された人材のネットワーク化を目指す。